

平成28年度 自己評価

職員間のチームワークを大切にし、保育への共通理解を図る。
(保育の共通理解を図る)

26-1

日々の保育の中で、学びあい育ちあう関係を築くために、保育者がそれぞれの取り組みについて報告したり意見交換をしたりする機会をつくっていますか。

職員個々の取り組みや意見交換は、基本的に同じクラス（複数担任クラス）や以上児クラス間のみという機会が多かったのですが、本年度は特に園内職員間での各種事項共有への取り組みを重点的に行なうため、未満児クラス間における合同ミーティングを取り入れました。各クラスや、職員個々の課題や取り組みについて共有する事により、園内での様々な取り組み事項や課題を複数の職員が意識することが出来るようになりつつあります。

ただ、乳児クラスにおいては単独行動となる為、他クラスとの情報共有の機会が少ないのが今後の課題となっています。

26-2

個別的配慮が必要な保護者や子どもについて、職員間で十分に話し合って共通理解し、協力して保育を進めていますか。

職員会議において、各クラスにおける特別な配慮が必要な園児や保護者（ご家庭）について報告（課題発見時から現在までの推移とその報告、今後の方針とサポートについて）を行なう時間を設けております。

クラス担任だけが責任を負い抱え込むのではなく、全ての職員（事務所や調理室も含め）がその児童・ご家庭に対し一定の理解を有し、共通認識を持ちながら必要なサポートを行なえるよう進めています。

26-3

職員間で報告、連絡、相談を密にしていますか。

日々の諸連絡は、毎朝の朝礼時に簡潔に全職員に報告・連絡をしていると同時に、個別の必要連絡事項は主任・副主任または事務員より個々の職員に直接伝えていきます。

また、月に一回の職員会議においては、日々の諸連絡のより内容の詳細までの話や、諸連絡では伝えきることのできないような十分な話し合いが必要な案件について、各クラスからの代表職員を中心に報告・相談をしています。

さらに、それぞれのクラスまたは未満児・以上児全体でのミーティングの時間を持つようにし、より細部まで詰めて話をしなければならぬ案件については、じっくりと関係職員で話合う時間を設けていきます。

☆ 総括 ☆

大所帯の保育園ではないので、全ての職員・全ての子供・全てのご家庭、それぞれの顔の見える関係性を築いていくことが大切であると考えています。

また、各クラスではどのような課題を抱えていて、どのように解決していこうと取り組んでいるのか、それをスタッフ同士がお互いに随時報告・相談をすることにより、より多くの目で子供達を守り育てていくことを大切にします。

そのためには、全てのスタッフが意識をしっかりと持ち、あらゆる情報の共有が必要不可欠であるということをお互いに認識し合って保育にあたる仕組みを確立させ、より一層の保育の充実を図っていくことを目指します。